

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：あさみどり保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：萩原 友希	定員（利用人数）：60名(利用人数：73名)	
所在地：〒 252 - 0311 神奈川県相模原市南区東林間2 - 22 - 6		
TEL：042 - 705 - 8653		
ホームページ：http://www.tomoni.or.jp/asamidori/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会		
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 12名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	主任 1名	園長 1名
	管理栄養士 1名	保育士 16名
	事務員 1名	調理員 4名
	（嘱託医：2名）	用務員 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6、トイレ：7、沐浴室：1、子育て支援室：1、一時預かり保育室：1、調理室：1、相談室：1、事務室：1、更衣室：1、職員休憩室：1 （設備等）図書コーナー：2、園庭、大型遊具、テラス、屋上、駐車場等	

③理念・基本方針

法人の理念

「ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。」

「ニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開します。」

基本理念

～tomoni生きる～

（1）すべての保育を必要とする子どもの環境整備に努めます。子どもの発達や成長に沿った保育や支援を行ないます。時代の変化にともなうニーズに即した保育と子育て支援をプロデュースします。

（2）あそびを通して、「あたま・からだ・こころ」を育てることを目標として学びに向かう土台づくりをします。

保育方針

（1）一人一人の成長・発達を理解し、子供の個性・人格を育みます。

（2）人とかかわり、人を大切にする心をつくります。

（3）安全で安心できる人的・物的保育環境を整えます。

（4）遊びを通して元気な体をつくります。

（5）発達に応じたさまざまな食の体験をし、気持ちよく楽しく食事をします。

（6）保護者との連携を強めて、それぞれの子どもの成長を支えます。

（7）地域との連携を強めて、地域と一緒に子どもの成長を支えます。

(8) 障がい児保育にも取り組みます。

(9) 専門家の研修を受けられる環境を設定し、保育の資質向上に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

(1) 特徴的な取り組み

- ・絵本屋さんによる読み聞かせ
- ・ブンネメソッドによる楽器遊び
- ・専門講師による体操（幼児対象）
- ・あそびクリエイターによる表現遊び（幼児対象）
- ・専門講師による工作教室（幼児対象）

(2) 実施運営

①地域子育て支援

- ・地域の方を対象に、ベビーマッサージ教室開催し、子育て相談にも応じます。
- ・平日に園庭開放を行っています。
- ・0歳児からの一時預かり事業を行います。
- ・近隣の小規模保育園との連携を図り、保育の支援を行います。
- ・誕生日会や吹奏楽演奏会等に地域の方をお招きしています。

②研修

- ・保育士の質の向上を図るため、法人内外の職員研修に積極的に参加します。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月14日（契約日） ～ 令和3年1月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成27年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもたちの発達状況の見える化を図り保育の質の向上を目指しています

法人の保育部会で統一した児童票を使って、子ども一人一人の発達の「見える化」を図り、保育の質の向上を目指して、今年度から取り組み始めていますが、行政機関に提出する書式が市ごとに異なる事が判明し、次年度導入を目指して法人で見直し中です。新しい児童票では、職員が子どもの発達状況を数百項目単位で毎月確認し、食事、運動、言葉、友達との関わりなどの発達状況を見える化して、得意、不得意の項目が分かりやすくなっています。職員は、子どもたちの発達状況の差異が分かり、職員が取り組む内容が適切かがはっきり出来、職員自身の保育の質向上に役立ちます。

2)地域交流を積極的に行っています。

地域交流・地域保育支援を積極的に行っています。0歳～1歳の赤ちゃんとお母さんのためのベビーマッサージ教室や園庭開放・図書コーナー絵本貸し出し・子育て相談・あさみどりカフェ・絵本の読み聞かせ会の他、0歳児からの一時保育と保育士や栄養士による簡単な遊びの紹介や栄養相談、近隣の絵本専門店の読み聞かせボランティアによる絵本読み聞かせを行っています。

全体的な計画に地域の子育て支援を掲げ、地域ニーズの把握に努めています。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、地域支援事業の一部の開催を中止・開催時期見直しをして、実施しています。

3)人材育成の強化と処遇改善を図っています

職員の資質向上に向けた取組がなされています。設置法人の人材育成計画に従った研修

制度があり、新人育成制度としてメンターメンティー制度を導入し、1対1で指導員が着き1人立ちするまで計画的に指導を行っています。

相模原市の「保育者ステップアップ研修」制度を利用して、段階的な研修を計画的に学び、専門性を高め資質の向上と職員の処遇改善を図っています。内部・外部研修とも、職員の希望に沿って資質向上に向けた研修に参加できるよう、園長・主任がシフト調整を行っています。

◇改善を求められる点

1)中長期計画の策定

法人としての中・長期計画は策定されていますが、保育園としての中・長期計画はありません。現在、設置法人の保育部会で、来年度から全保育園共通の中・長期計画の策定を計画していますので、次年度からは、中・長期計画をもとにした単年度の事業計画作成を期待します。

2)帳票類の見直しと新しい保育指針に合わせた訂正

「あさみどり保育園運営規程」は、保育指針改定前の文言のまま記載されています。また、入園のしおりと重要事項説明書を説明し、確認したことを保護者に求める書類が、新旧混在していますので、文書の書式を最新版に統一して、運用することを期待します。

3)業務負担感の低減工夫

園では研修の計画を作り職員の育成に取り組んでいます。職員が働きやすいように配慮していますが、職員は休憩や仕事量のバランスが課題と考えています。仕事量の平準化や専門職の配置等の働きやすい職場への一層の工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育園の理念でもある「あたま・こころ・からだ」を育てるを念頭に、子どもファーストの保育を行ってきました。園全体で同じ方向を目指している結果が今回出たのではないかと感じています。特に子ども一人一人の発達に重点を置きそれぞれに合った対応を心掛けている点は、今後もしっかりと行っていきたい項目です。

一方、課題としては新旧の書類が混在し統一性が図れていないことや職員のワークライフバランスの偏りがあげられます。心身ともに健康でなければ良い保育は出来ません。良いバランスが取れるよう工夫していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり